

山形大学校友会専門委員会（第20回）議事録

平成28年5月27日(金)
15時00分～16時45分
山形大学法人本部役員会議室

(議 題)

- 1 平成27年度事業報告及び収支決算について
- 2 平成28年度事業計画及び収支予算について
- 3 山形大学校友会大学院学生表彰に関する申し合わせの一部改正について
- 4 山形大学校友会設立10周年記念事業の実施について
- 5 その他
 - (1) 校友会の事業運営等に学生を参加させる仕組みについて
 - (2) 校友会の活動報告について
 - (3) 平成28年度山形大学OB&OGセミナーの開催予定について
 - (4) その他

(出席者)

委員長： 長沼龍平
委員： 佐藤圓治、大場好弘、竹田隆一、神戸士郎、佐藤和佳子

(欠席者)

委員： 齋藤博行

(列席者)

長岡エンrollment・マネジメント部長、
大沼校友会事務局長、黒沼校友会事務局次長、渡部事務局員

議事に先立ち、事務局から、このたび校友会理事を交代される方もおられるが、本日は慣例により前年度からの専門委員会委員で審議いただくことになっていること、及び昨年度までの丹野委員には理学部後援会からすでに離れていることに伴い、新会長の佐藤圓治氏に出席いただいている旨説明があった。

引き続き、長沼委員長から、このたびふすま同窓会の会長を退任したが、次回の校友会理事会に向けた議案調整は本委員会において行うことになっており、本委員会の委員長として最後の任務となるが、よろしくお願ひしたい旨挨拶があった。

1 平成27年度事業報告及び収支決算について

委員長から本件について提案があり、事務局から、「平成27年度事業報告一覧」、「平成27年度事業報告書(個別)及び「平成27年度収支決算書(案)及び監査報告」について資料1-1、資料1-2及び資料2に基づき説明があった。

また、5月19日に丸山、寒河江の両監事による会計監査が行われ、特段の指摘事項等がなかった旨併せて報告があった。

次いで、委員長から本件について諮られた結果、原案どおり了承され、次回の理事会へ提案することになった。

2 平成28年度事業計画及び収支予算について

委員長から本件について提案があり、事務局から、「平成28年度事業計画書提出一覧」、「平成28年度事業計画書(個別)」及び「平成28年度収支予算書(案)」等について資料3-1、資料3-2、資料4、資料5-1及び資料5-2に基づき概ね次のような説明があった。

(内容)

- (1) 平成 28 年度の申請件数は、継続事業 23 件及び新規事業 4 件の合計 27 件で申請総額は予備費も含めて 37,168 千円となっている。
なお、そのうち校友会が実施主体となる事業として、継続事業 6 件 (No. 21 から No. 26) 及び新規事業 1 件 (No. 27) が含まれている。
- (2) 平成 28 年度の予算案については、収入は一般会員からの会費収入の若干増を期待して 2,020 万円を見込み、預金利息の雑収入 2 万円、繰越金 1,201 万円と合わせて総額約 3,223 万円となるが、運営費を含めた支出総額は 2,903 万円程度としたい。
- (3) 事業の審査に当たっては、前回の理事会で「平成 28 年度以降の基本方針」(資料 5-1) が確認されている。
- (4) 平成 28 年度継続事業として優位性を認めた 26 事業のうち、次の 3 事業は申請がなかったため、審査外となる。
 - ・グローバル化に向けた授業への修学支援 (4 年目)
 - ・山形大学実践教育プログラム長期インターンシップの実施等 (3 年目)
 - ・山形大学東京サテライト卒業・修了制作展 (3 年目)
- (5) 予算書の事業費欄は、今年度から「大学への支援事業」と「校友会事業」に区分して表記している。
- (6) 「博士課程学生研究発表奨励事業 (No. 7)」は、医学部と工学部との共同申請として扱う。
- (7) 「実践教育プログラム英語合宿 (No. 9)」は、昨年までの内容を一部変更し「英語合宿」に特化した事業となっている。
- (8) 「本学OB・OGから学ぶ業界・仕事研究セミナー (No. 18)」は昨年度で 5 年間の継続事業が終了したことにより、今回から新たな名称で新規事業として申請されたものである。
- (9) 今年で 4 回目となる「山形大学卒業生講演会 (No. 22)」は、米沢工業会様との共同開催としたいと考えている。
- (10) 「校友会設立 10 周年記念事業の実施 (No. 27)」は、すでに前回の理事会で承認を得ているが、平成 28 年度の新規事業として計上する。

説明の後、委員長から、それぞれの事業について審査願いたい旨提案があり、事務局から、「採択額の検討資料(資料 5-2)」等に基づき順次説明の後、審査を行った。主な意見・要望等は次のとおり。

- 「博士課程学生研究発表奨励事業 (No. 7)」については、それぞれの研究科にいくら配分されるのか。(佐藤(和)委員)
- これまでの実績を踏まえ、大学院理工学研究科に 120 万円、医学系研究科に 30 万円である。(事務局)
- 「新興国学生大使派遣プログラム (No. 13)」については、同じ学生に複数回の支援を行うケースもあると聞いているがどうか。(竹田委員)
- 本件はグローバル化に向け大事な取り組みであるが、公平性と平等性の観点から、校友会からの同じ学生への支援は一人 1 回となるよう徹底したい。(事務局)
- グローバル化の中では、大学院生が海外企業でインターンシップを行うようなケースも出てきており、今後は、校友会からの支援も考慮願いたい。(神戸委員)
- 現在は大学間交流協定大学へ学生派遣が主であるが、グローバル化の拡がりとともに、今後検討すべき課題であるかも知れない。(事務局)
- 平成 28 年度事業計画書 (個別) (資料 3-1) の中には、ケアレスミスが散見され、資料として整合性をとってもらいたい。(神戸委員)
- しかるべく対応したい。(事務局)

種々審議の後、委員長から本件について諮られた結果、次のとおり了承され、資料整理の上、次回の理事会へ提案することになった。

(各種団体等からの申請分)

- | | | |
|------|-------------|---|
| 事業 1 | 継続 (60 万円) | ・・・実績を考慮しやや減額 (△ 10 万円) |
| ” 2 | 継続 (50 万円) | ・・・前年度と同額 |
| ” 3 | 継続 (110 万円) | ・・・前年度実績を考慮し増額 (+ 10 万円) |
| ” 4 | 継続 (300 万円) | ・・・前年度と同額 |
| ” 5 | 継続 (200 万円) | ・・・前年度と同額 |
| ” 6 | 継続 (200 万円) | ・・・前年度と同額 |
| ” 7 | 継続 (150 万円) | ・・・前年度実績を考慮し増額 (+ 30 万円)
(理工学研究科分 120 万円・医学研究科分 30 万円) |
| ” 8 | 継続 (50 万円) | ・・・前年度と同額 |
| ” 9 | 継続 (30 万円) | ・・・英語合宿に絞っての実施のためやや減額 (△ 15 万円) |
| ” 10 | 継続 (40 万円) | ・・・他キャンパスへの広がりを期待して増額 (+ 10 万円) |
| ” 11 | 継続 (30 万円) | ・・・前年度と同額 |
| ” 12 | 継続 (70 万円) | ・・・実績を考慮しやや減額 (△ 30 万円) |
| ” 13 | 継続 (120 万円) | ・・・前年度実績を考慮し増額 (+ 20 万円) |
| ” 14 | 継続 (100 万円) | ・・・前年度と同額 |
| ” 15 | 継続 (15 万円) | ・・・前年度と同額 |
| ” 16 | 継続 (70 万円) | ・・・前年度と同額 |
| ” 17 | 継続 (20 万円) | ・・・前年度と同額 |
| ” 18 | 新規 (採 択) | ・・・5年経過でも必要な学生のキャリア支援に期待
(70 万円) |
| ” 19 | 新規 (採 択) | ・・・山大学生が何度でも無料で入館できるユニークなシステムで
あり、美術関係の教育支援や博物館実習支援に繋がること
に期待 (25 万円) |
| ” 20 | 新規 (採 択) | ・・・石巻市を中心とした子供向けの復興支援プロジェクトに
期待 (30 万円) |

(校友会が主体的に取り組む事業分)

- | | | |
|------|--------------|----------------------------------|
| ” 21 | 継続 (120 万円) | ・・・前年度と同額 |
| ” 22 | 継続 (30 万円) | ・・・前年度実績を考慮しやや減額 (△ 10 万円) |
| ” 23 | 継続 (80 万円) | ・・・前年度と同額 |
| ” 24 | 継続 (30 万円) | ・・・前年度と同額 |
| ” 25 | 継続 (100 万円) | ・・・前年度と同額 |
| ” 26 | 継続 (40 万円) | ・・・前年度実績を考慮しやや増額 (+ 10 万円) |
| ” 27 | 新規 (採 択) | ・・・校友会設立 10 周年記念事業として計上 (300 万円) |
| | 予備費 (100 万円) | ・・・「調整財源」として予算計上 |

合 計 (2, 540 万円)

3 山形大学校友会大学院学生表彰に関する申し合わせの一部改正について

委員長から本件について提案があり、事務局から資料6に基づき概ね次のような説明があった。

- (1) 前回の専門委員会及び理事会でいただいた意見等を踏まえ、これまでの申し合わせを一部改正することとした。
- (2) 申し合わせの主な改正ポイントは次のとおりである。
 - ・ 大学院学生表彰は「校友会長賞」と称することを明確にした。(第1条の2)
 - ・ 「学会等の受賞」は国際的な規模の学会であることを明確にするとともに、学術研究活動上の具体的な対象を3つに区分して表記した。
(第2条第1項第1号)
 - ・ 第2条第1項の場合と同等と思われる顕著な業績を挙げた者も追加した。
(第2条第1項第2号)
 - ・ 対象者を校友会の会員に限定した。(第2条第2項)
 - ・ 推薦に係る提出期限を明示した。(第3条第2項)
 - ・ 推薦書様式の一部見直しと必要な推薦資料の項目例を明示した。(別記様式)

説明の後、種々意見の交換があり、委員長から、原案について「国際的な規模の学会等」は「全国規模の学会」に一部修正の上、諮られた結果了承され、次回の理事会へ提案することになった。

4 山形大学校友会設立10周年記念事業の実施について

委員長から本件について提案があり、事務局から資料7(別添資料①から⑩を含む。)に基づき概ね次のような説明があった。

- (1) 本件は5月18日(水)の記念事業実施委員会において検討され、概ね了承された資料で、別添資料①から⑩はそれぞれの具体的な内容である。
- (2) 記念講演会、記念式典及び記念祝賀会は、本年11月25日(金)の午後小白川キャンパス内で予定している。
- (3) 記念講演会、記念式典及び記念祝賀会には、大学内外から来賓延べ132人に案内を差し上げる予定である。
- (4) 記念事業は、本年度に実施するものが6件(黒字)、すでに実施済みのもの1件(赤字)及び今後実現したいと考えているものが2件(青字)である。
- (5) 記念事業の実施体制は、記念事業の会長には学長をお願いし、その他記念事業実施委員会(委員長:大場好弘理事・副学長)が担当する。
- (6) 記念品の選定には苦慮しており、良いアイデアがあれば伺いたい。
- (7) 記念式典等への案内状の送付は、早めに行うよう学長から指示を受けているので、早急に進めたい。

主な意見・要望等は次のとおり。

- 記念式典での来賓祝辞は入学者の一番多い高等学校の校長を考えているが、あえて戦略的には別の方をお願いする方法もあるのではないかと。(例えば山東高など)
(神戸委員)
- 来賓祝辞は、卒業生をもっとも多く採用いただいている企業の社長さんと、入学者が最も多い高校の校長先生を考えているが、学長とも相談したい。(事務局)
- ふすま同窓会では、これまで記念行事で進呈した幾つかの記念品があるので、校友会事務局にお届けしたい。(長沼委員)
- ぜひ参考とさせていただきたい。(事務局)

5 その他

委員長から、その他として次の3項目について報告したい旨発言があり、順次、事務局から説明があった。

(1) 校友会の事業運営等に学生を参加させる仕組みについて

本件について事務局から概ね次のような説明があり、次回の理事会に報告することとした。

(内容)

- ① 本件は専門委員会や理事会において検討され、出された意見等も踏まえ資料8のとおり整理したものである。
- ② 本資料は「現状と課題」として6つのポイント、「今後の方向」として6つの観点でまとめている。
- ③ 今後、必要な検討を行い、できれば次年度から発足させたいと考えている。

説明の後、種々意見の交換では、「学生サポーターの選考方法は工夫されたい。」等の意見が出され、委員長から本件について諮られた結果、大枠で了承され、次回の理事会へ提案することになった。

(2) 校友会の活動報告について

本件について事務局から概ね次のような説明があり、次回の理事会に報告することとした。

(内容)

- ① 校友会は今年で設立10周年を迎え、現在の取組み状況等をまとめたのが資料9である。
- ② 校友会の諸活動をもっと理解いただくための説明資料として、各同窓会支部総会に持参し活用したいと考えている。

(3) 平成28年度山形大学OB&OGセミナーの開催予定について

本件について事務局から概ね次のような説明があり、次回の理事会に報告することとした。

(内容)

- ① 本件は平成29年3月4日(土)に、「山形大学東京サテライト(100人規模)」から「グランパークカンファレンス大会議室(190人規模)」に会場を変更して実施予定である。(資料10のとおり)
- ② 山形大学東京サテライトの使用においては従来からもさまざまな制限があり、今年度は会場を変更して実施することとした。
- ③ 交流会への参加費は、これまでより1,000円程度値上げとなる見込みである。
- ④ OB&OGセミナーにおける講演講師の候補者はじめ何か良いアイデア等があればお寄せいただきたい。
- ⑤ 大変好評であった前年度のOB&OGセミナーの様子や参加者アンケートの集計結果は、資料10に添付してあるのでご覧いただきたい。

(4) その他

特になし

配付資料一覧

- 山形大学校友会専門委員会（第 20 回）次第
- 山形大学校友会専門委員会委員一覧（H28.4.1 現在）

[資料一覧]

- 資料 1-1 平成 27 年度事業報告一覧
- 資料 1-2 平成 27 年度事業報告書（個別）
- 資料 2 平成 27 年度収支決算書（案）及び監査報告
- 資料 3-1 平成 28 年度校友会事業計画書提出一覧
- 資料 3-2 平成 28 年度事業計画書（個別）
- 資料 4 平成 28 年度収支予算書（案）
- 資料 5-1 校友会事業の検討に当たっての基本方針
(28.2.19 校友会理事会確認)
- 資料 5-2 平成 28 年度校友会事業に係る採択額検討資料
- 資料 6 山形大学校友会大学院学生表彰に関する申合せの
一部改正について（案）
- 資料 7 校友会設立 10 周年記念事業（検討資料）
- 資料 8 校友会の事業運営等に学生を参加させる仕組みについて
(検討資料)
- 資料 9 校友会の活動報告について
—校友会活動をご理解いただくために—
- 資料 10 平成 28 年度山形大学OB & OG セミナーについて

[参考資料]

- 1 山形大学校友会会則
- 2 山形大学校友会専門委員会規程
- 3 校友会専門委員会第 19 回議事録（H28.1.27）
- 4 校友会理事会第 19 回議事録（H28.2.19）
- 5 平成 27 年度新興国学生大使派遣プログラム実施報告書
- 6 企業訪問報告書 2016
—山大生が企業訪問に行ってきました—
- 7 山形大学校友会会報 No. 7